

平塚市環境基本計画(改訂版)

進捗状況報告書



平成 28 年 6 月

平塚市環境部環境政策課

本書について

平塚市では、平塚の環境を守り育てていく指針として「平塚市環境基本計画」を策定し、地球温暖化防止や自然環境の保全につながる10の重点施策を中心に、取組を進めています。

環境基本計画では、毎年度、前年度における施策の実施状況について評価・点検を行い、計画に位置づけた施策の着実な推進を図ることとしており、この度、環境基本計画（第3期事業計画）に位置付けられた2015年度（平成27年度）の施策・事業の進捗状況がまとまりましたので、報告させていただきます。

■■■■■ 目 次 ■■■■■

平塚市環境基本計画について	2
重点施策の目標と実績一覧	5
進捗状況点検結果の見方について	7
進捗状況点検結果	9
1 「環境市民」による活動の促進	9
2 生活環境の保全	15
3 自然環境の保全と再生	20
4 都市環境の保全と創造	30
5 地球環境保全への貢献	40

平塚市環境基本計画について

「平塚市環境基本計画」（平成 12 年 3 月策定）は、環境の保全と創造に関する施策を総合かつ計画的に推進する上での基本となる計画です。この計画に基づき、平塚市では、市民・事業者・市が協働でさまざまな取組を進めています。

平成 19 年 3 月には、計画策定以降の社会情勢の変化や施策の進捗状況を踏まえ、より着実かつ効果的な取り組みの推進を図るため、環境基本計画の改訂をしました。

1 計画期間

計画期間は、平成 19 年度から 28 年度までとしますが、環境問題を取りまく社会情勢の変化などにより、必要に応じて見直しを行います。また、施策や事業計画については、3 年毎に見直しを行います。

第 1 期事業計画：平成 19 年度～21 年度

第 2 期事業計画：平成 22 年度～24 年度

第 3 期事業計画：平成 25 年度～28 年度（現在推進中）

2 環境基本計画のめざすもの

(1) 望ましい環境像

環境基本計画では、市民、事業者、市の三者が共通の認識を持って環境の保全と創造に取り組むために、「望ましい環境像」を次のとおり掲げています。

「環境市民」が築く環境共生・発信都市ひらつか

(2) 4 つの基本方針

『環境市民』が築く環境共生・発信都市ひらつかを実現するため、4 つの基本方針に基づき、環境の保全と創造に取り組んでいきます。

1 環境保全・創造への参加と協働

市民・事業者の自発的かつ積極的な参加と市を含めた三者の協働により、将来の世代に継承すべき望ましい環境の保全と創造をたゆみなく行います。

2 自然と人との共生の確保

丘陵、里山、農地、河川、海などの豊かで身近な自然を大切にするとともに、これらの自然とのふれあいを図り、生態系の一員として自然と人との共生を図ります。

3 循環型地域社会の実現

日常生活や事業活動の中で環境への負荷を低減し、また大気、水、資源などの望ましい物質循環のシステムが確立された地域社会の実現を目指します。

4 広域的取組の推進

行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力することにより、環境の保全と創造についての広域的な取組を推進します。また、その中で先導的な平塚らしい取り組みを発信していきます。

3 施策の体系

第3期事業計画（平成25年度～28年度）では、5つの「施策の方向」と「めざすすがた」の実現に向け、13の「施策の柱」とそれらを実現するために必要な24の「施策の項目」を設定しました。「施策の項目」のうち、4年間で重点的に取り組む施策を重点施策、それ以外の施策を基本施策とし、重点施策については、目標と事業計画を掲げています。

施策の方向	施策の柱	施策の項目
1 「環境市民」による活動の促進	1-1「環境市民」をふやします	1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実【重点】 2 地域における環境教育の充実【基本】
	1-2「環境市民」の取組や連携を支援します	1 市民活動や企業の取組に対する支援【重点】
2 生活環境の保全	2-1 空気や水をきれいにします	1 大気環境の保全対策の推進【基本】 2 水環境の保全対策の推進【基本】
	2-2 安全で快適な生活を守ります	1 化学物質対策の推進【基本】 2 土壌汚染・地下水汚染への対応【基本】 3 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に対する取組【基本】
3 自然環境の保全と再生	3-1 生物多様性を保全します	1 生物多様性の保全対策の推進【重点】
	3-2 里山を保全し再生します	1 里山の保全・再生とふれあいの推進【重点】
	3-3 水辺の自然を再生します	1 川や海の自然環境の再生とふれあいの推進【基本】
	3-4 農地を保全し活用します	1 農業の活性化と農業とのふれあいの推進【重点】 2 環境に配慮した農業の推進【基本】
4 都市環境の保全と創造	4-1 うるおいとやすらぎのあるまちにします	1 みどりのネットワークの形成【重点】 2 さわやかで清潔なまちづくりの推進【重点】 3 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進【基本】
	4-2 環境共生型のまちづくりを進めます	1 環境共生モデル都市の形成【基本】 2 交通の円滑化の推進【基本】 3 ヒートアイランド対策の推進【基本】
5 地球環境保全への貢献	5-1 地球温暖化防止に取り組めます	1 新エネルギーの導入促進【重点】 2 くらしや事業活動における環境への配慮の促進【重点】
	5-2 循環型社会をつくれます	1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進【重点】 2 不法投棄防止対策の推進【基本】
	5-3 広域的な環境保全に取り組めます	1 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進【基本】

4 進捗状況の点検

平塚市環境基本計画については、毎年度、前年度における施策の実施状況について評価・点検を行い、計画に位置づけた施策の着実な推進を図ります。

(1) 実施状況の点検・評価

実施状況の点検・評価は、内部点検と外部点検の2段階4過程により実施します。

内部点検

①担当課による自己点検

施策の実施状況・進捗状況について、担当課が自己点検し、問題点を抽出します。

②平塚市環境基本計画推進会議における点検

担当課による自己点検の結果をもとに、庁内の関係部局で組織される平塚市環境基本計画推進会議において、進捗状況の点検を行います。

また、計画推進上の課題となる事項について、検討・調整を行います。

外部点検

③平塚市環境審議会における審議

庁内での点検・検討結果と市民意見をもとに、平塚市環境審議会において審議し、意見を提出していただきます。

④市民意見の募集

環境基本計画の進捗状況等について、市民に意見を募集します。

第3期事業計画の策定に関しては、パブリックコメントを実施しました。

(2) 実施状況の点検・評価結果の反映

実施状況の点検・評価の結果については、可能なものから随時、施策の実施に反映していきます。

また、計画の進捗状況等について寄せられた市民意見については、今後の計画推進に反映していくとともに、寄せられた市民意見への対応状況を公表します。

(3) 実施状況の公表

環境基本計画に位置づけられた施策の実施状況や点検結果を年次報告書にまとめ、環境施策の周知を図ります。

重点施策の目標と実績一覧

施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標	現状	目標値: 上段 実績: 下段				
					23年度	25年度	26年度	27年度	28年度
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	51園・校	53園・校	54園・校	55園・校	56園・校	
					52園・校	53園・校	53園・校	—	
	「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	95人	140人	160人	180人	200人	
					102人	108人	109人	—	
		平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数	80企業	90企業	95企業	100企業	100企業		
				65企業	71企業	55企業	—		
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	自然観察会の参加人数	66人	45人	45人	45人	45人	
					75人	57人	48人	—	
	里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	6回 82人	6回 90人	6回 90人	6回 90人	6回 90人	
					7回 80人	7回 87人	7回 99人	—	
	農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	3.4ha	3.7ha	3.3ha	3.0ha	2.7ha	
					5.8ha	9.5ha	11.1ha	—	
		市民農園数	19箇所 (915区画)	21箇所	23箇所	24箇所	25箇所		
				22箇所 (1,110区画)	23箇所 (1,208区画)	24箇所 (1,235区画)	—		
都市環境の保全と創造	うるおいとやすらぎのあるまちにします	みどりのネットワークの形成	市民1人当たりの都市公園の面積	5.18㎡	5.18㎡	5.19㎡	5.40㎡	5.50㎡	
					5.40㎡	5.40㎡	5.50㎡	—	
		さわやかで清潔なまちづくりの推進	美化推進モデル地区の指定	3地区	3地区	4地区	4地区	4地区	
					4地区	4地区	4地区	—	
地球環境保全への貢献		新エネルギーの導入促進	一般住宅の太陽光発電システムによる発電力	4,873kW (助成対象累計)	8,140 kW	10,000kW (適宜見直し)	事業終了	事業終了	
					8,558kW	9,689kW	—	—	
	地球温暖化防止に取り組めます	くらしや事業活動における環境への配慮の促進	「ひらつかCO2 CO2プラン」に取り組んだ人数	7,957人	8,000人	9,000人	10,000人	10,000人	
					8,508人	9,745人	10,721人	—	
			平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数(再掲)	80企業	90企業	95企業	100企業	100企業	
					65企業	71企業	55企業	—	
循環型社会をつくります	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	市民1人が1日に排出するごみの量	917g	912g	911g	910g	910g		
				907g	898g	908g (速報値)	—		
		ごみの資源化率	21.7%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%		
				23.8%	25.0%	24.9% (速報値)	—		

実施状況調査				主管課
H27		評価の説明や取組に対する自己評価	目標値変更	
実績	評価			
53園・校	○	各園・学校での発達年齢段階に応じた取組みの浸透により、環境教育への取組みの充実を図った。今後も引き続き小中学校・幼稚園担当者研修を通じ、先進的な取組み内容について共有化を図り、より一層の充実を目指す。		教育総務課
109人	×	活動発表会や「ひらつか環境フェア2015」等を実施し、「ひらつか環境ファンクラブ」の活動を周知したが、目標を達成することはできなかった。今後も、様々なイベント活動に合わせて当クラブの活動をPRしていく中で、会員数の増加を目指す。		環境政策課
55企業	×	平塚市環境共生型企業懇話会を、会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。		産業振興課
48人	○	セミの抜け殻を調べる行事(2回、38人)、金目川の野鳥を観察する自然教室(1回、9人)、吉沢地区でキノコの観察会(1回、1人)を開催し、自然や動植物に親しむ機会を提供し、環境との関わりを学んだ。		博物館 環境政策課
7回 99人	○	実施回数、参加者共に目標値を上回った。今後も引き続き、広報やホームページを利用して里山保全モデル事業の周知に努めていく。		環境政策課
11.1ha	×	農水産課と農業委員会が連携し、荒廃農地調査の着実な実施と指導により一部解消が見られるものの、農業者の高齢化や担い手不足により、全体の面積としては増加し、実績として削減には至らなかった。		農水産課
24箇所 (1,235区画)	○	市民農園開設地のバランスをはかりながら、城島地区(小鍋島)に1園(27区画)開設した。区画割りや物品購入費の一部を補助する等、開設のための支援を行った。		農水産課
5.50㎡	○	真田与一公園他8公園の開設による増があり緑の軸の形成を考慮しながら公園面積を確保した。		みどり公園・ 水辺課
4地区	○	清掃活動に係る消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。		循環型社会 推進課
—	—	概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。		環境政策課
10,721人	○	市内全小学校を通して小学生の家庭(家庭数)や太陽光発電システム及びエネファームの設置補助金を交付した方等へ配布したことにより、参加者が増えた。		環境政策課
55企業	×	平塚市環境共生型企業懇話会を、会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。		産業振興課
908g (速報値)	○	平塚市一般廃棄物処理基本計画の推計値(目標値)と比して排出量は2g削減した。前年度比では事業系一般廃棄物と家庭から排出された資源再生物の量が増加したため、10g増加した。		循環型社会 推進課
24.9% (速報値)	○	剪定枝等の資源化品目を追加したこと等により、資源化量全体は増加したが、ごみの総排出量も増加したため、相対的な資源化率はほぼ横ばいとなった。		循環型社会 推進課

進捗状況点検結果の見方について

〈凡 例〉

1	○○○○○ ※施策の方向
1-1	○○○○○ ※施策の柱

●**施策 1** ○○○○○ ※施策の項目

【重点施策】

（重点施策は、目標に対する実績と評価の説明、及び具体的な取組の年度計画に対する実績と評価の説明を記載しています。）

目 標					
項目	年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
※環境基本計画から転記しています。	目標値	※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	目標値
	実績	※25 年度実績を記載しています。	※26 年度実績を記載しています。	※27 年度実績を記載しています。	—

評 価	
27 年度評価	※27 年度の目標に対する達成状況を「○」、「×」等で評価をしています。
評価の説明	※評価の説明や取組に対する自己評価を記載しています。

【具体的な取組内容】

① ○○○○○ ※環境基本計画から転記しています。			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	※27 年度実績を記載しています。	〈評価〉 ※27 年度の目標に対する達成状況を「○」、「×」等で評価をしています。 <hr/> 〈説明〉 ※評価の説明や取組に対する自己評価を記載しています。

【評価指標について】（数値目標がある場合：達成率）

- ・ 目標を達成した場合又は目標達成と同等の状況と考えられる場合…○（90%以上）
- ・ 概ね計画どおり実施したが、目標を達成できなかった場合…△（70%以上90%未満）
- ・ 未実施又はあまり進展せず目標を達成できなかった場合…×（0%～70%未満）
- ・ 方針を変更若しくは廃止した場合又は実績等がでておらず、評価できない場合…—

●施策2 ○○○○○ ※施策の項目

【基本施策】

(基本施策は、具体的な取組の事業計画と実績を記載しています。)

〔具体的な取組内容〕

① ○○○○○※環境基本計画から転記しています。		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
※環境基本計画から 転記しています。	※事業計画を掲載しています。	※平成27年度の実績を掲載しています。

1 「環境市民」による活動の促進

1-1 「環境市民」をふやします

●施策1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
わかば環境 ISO で独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	目標値	53園・校	54園・校	55園・校	56園・校
	実績	52園・校	53園・校	53園・校	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	各園・学校での発達年齢段階に応じた取組みの浸透により、環境教育への取組みの充実を図った。今後も引き続き小中学校・幼稚園担当者研修を通じ、先進的な取組み内容について共有化を図り、より一層の充実に努める。

〔具体的な取組内容〕

① 幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
「わかば環境 ISO」の推進 〔教育総務課, 教育指導課, 環境政策課〕	幼稚園・小中学校での取組の推進 ホームページにおける取組状況の発信 (年2回更新等)	各校(園)から提出される各種書類により計画的に取組みが実践されていることを確認した。また、ホームページにおいて、取組状況を2回更新した。	〈評価〉○ 〈説明〉 担当者研修会の実施やホームページによる情報発信により、わかば環境ISOへの理解が深まり、学校(園)での円滑な取組みに繋がっている。
	民間幼稚園での「わかば環境ISO」の取組の促進	民間幼稚園5園において、取組みを継続するとともに、未加入の民間幼稚園へ参加を呼びかけた。その結果、平成28年度から新たに1園の参加の承諾を得た。	〈評価〉○ 〈説明〉 継続取組みの5園に加え、翌年度から1園の新規参加により、環境学習の充実に繋がっている。

1 「環境市民」による活動の促進

① 幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
保育園における環境への取組の促進 〔保育課〕	環境配慮に関する学習や家庭への普及・啓発の実施（公立保育園全園で実施）	行事の際にペットボトルなどの廃材を利用して作品を作成した。ゴーヤ等を利用した緑のカーテンの取組みや、水遊びの際に節水や排水の再利用を心がけるなどの環境配慮を呼びかけた。（9園で実施）	〈評価〉○ 〈説明〉 保育園で作品を制作する際には廃材を利用するなど、環境に配慮した取組みを積極的に行った。また、節水に関しては園児たちに周知を行い、環境に配慮する意識を高めた。
	民間保育園での環境配慮物品の利用促進等（全園に協力依頼）	環境配慮行動チェックシートを全ての園に配布し、環境に対する意識を高めてもらった。	〈評価〉○ 〈説明〉 環境に配慮する意識は定着しているものと考ええる。
② 学校などでの環境学習の支援			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
「ごみ学級」等の実施 〔循環型社会推進課、環境政策課〕	全小学校28校で実施	小学校4年生を対象に4月から6月にかけて市内28校で実施し、2,199人が受講した。	〈評価〉○ 〈説明〉 市内小学校4年生、全28校に実施できた。
環境学習教材や情報の提供 〔環境政策課、教育研究所〕	教材の貸出、環境学習ガイドホームページの更新、他団体等との連携の試行等	・教材の貸出3回、ひらつか環境学習ガイドホームページの更新を行った。 [アクセス数：3,309件] ・環境学習教材の貸し出し。学習教材「わたしたちの平塚」を配布した。	〈評価〉○ 〈説明〉 ・ワットチェッカー、ソーラーカー、手回し発電機、書籍等を貸し出した。 ・ひらつか環境学習ガイドホームページのアクセス数は昨年度より約1,000件増加した。 ・学習教材「わたしたちの平塚」を市内小学校の新3年生に配布した。

●施策2 地域における環境教育の充実 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 子どもを対象とした環境教室等の開催		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
子ども環境教室及び環境ポスター・作文コンクールの開催 〔環境政策課〕	子ども環境教室（海編、里山編、金目川の生き物観察会）や環境フェア等の機会を利用して環境教室を実施する。また、小中学生を対象に、環境ポスター・作文コンクールを開催する。	子ども環境教室（参加者…海編：31人、里山編：94人、川編：150人）や環境フェア等にて環境教室を実施した。また、小中学生を対象とした環境作文・ポスターコンクール（応募者434人）を実施した。
こども自然体験教室の開催 〔青少年課〕	びわ青少年の家で、農作業や収穫物の加工・創作活動などを行う。こども自然体験教室（びわっ子クラブ）を会員32人で年9回開催する。	びわ青少年の家で、農作業や収穫物の加工・創作活動などを行う、こども自然体験教室（びわっ子クラブ）を会員32人で年9回実施した。
② 幅広い年齢層を対象とした環境学習の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
青少年育成・生涯学習等における環境学習の促進 〔青少年課,中央公民館〕	各公民館の運営委員会により、地域の自然を生かした講座の企画を行う。	地区公民館において、地域の自然環境について学ぶ講座や平塚市内の清掃施設を親子で見学する講座を開催した。（9講座・参加者数 延べ233人）
博物館における環境に関する講座等の開催 〔博物館〕	野生動植物に関する講座、体験学習、調査や自然観察などの行事を開催する。また、市内の植物相の状況調査と植物標本の整理を継続する。	セミの抜け殻を調べる行事（2回、38人）、金目川の野鳥を観察する自然教室（1回、9人）、吉沢地区でキノコの観察会（1回、1人）を開催した。市内の植物相の状況調査と植物標本の整理を進めた。
市民活動団体等と連携した出前講座等の実施 〔環境政策課〕	ひらつか環境ファンクラブと連携して、地球温暖化対策出前講座を10回開催する。	地球温暖化対策出前講座を10回開催し、316人が参加した。

1 「環境市民」による活動の促進

1-2 「環境市民」の取組や連携を支援します

●施策1 市民活動や企業の取組に対する支援 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
環境ファンクラブの 会員数	目標値	140人	160人	180人	200人
	実績	102人	108人	109人	—

評 価	
27年度評価	×
評価の説明	活動発表会や「ひらつか環境フェア 2015」等を実施し、「ひらつか環境ファンクラブ」の活動を周知したが、目標を達成することはできなかった。今後も、様々なイベント活動に合わせて当クラブの活動をPRしていく中で、会員数の増加を目指す。

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業 延べ数	目標値	90企業	95企業	100企業	100企業
	実績	65企業	71企業	55企業	—

評 価	
27年度評価	×
評価の説明	平塚市環境共生型企業懇話会を、会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。

〔具体的な取組内容〕

① 市民の環境保全活動に対する支援			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
「環境活動支援事業」等による支援 〔環境政策課、協働推進課〕	助成金交付講座開催 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・環境市民講座の開催や環境フェア、活動発表会など、環境活動支援事業を実施した。 ・「公益信託ひらつか市民活動ファンド」により市民活動団体5団体の内、環境に関する活動も行っている3団体への助成金の交付を行った。 	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境市民講座、緑化まつり、ひらつか環境フェア、パネル展、活動発表会等で、環境に関する意識啓発や、ひらつか環境ファンクラブの活動紹介を行った。 ・27年度助成対象の5団体の中で環境に関するものは、植栽、海岸保全、放射能に関する普及啓発などの活動を行なっている3団体に合計23万円助成を行った。
環境保全団体への支援 〔循環型社会推進課、みどり公園・水辺課〕	事業費の助成 研修会等の開催 情報提供等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化団体及び美化推進団体に対し支援した。 <p>【公園愛護会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園愛護会への交付金を交付した。 ・連絡協議会への補助金を交付した。 ・総会、研修会の実施、会報発行をした。 <p>【緑化モデル団体】</p> <p>連絡協議会との連携として、情報提供や事業支援を行った。</p>	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動団体に対する適切な支援であると考えている。 ・交付金及び補助金の交付により活動の支援を行うとともに、総会・研修会・会報発行を通して情報提供を行った。 ・総会等の場を通じて団体間のコミュニケーションが図られているとともに、団体が行う市内の緑を増やす活動の支援ができています。
② 環境にやさしい企業づくりの支援			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
平塚市環境共生型企业懇話会の開催 〔産業振興課〕	懇話会の開催 活動発表	平塚市環境共生型企业懇話会を6回開催し、その他に役員会も行った。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <p>企業間の事例発表や講演会、施設見学の開催と活動発表のための展示会への出展などによって、企業間における環境負荷の軽減への取組を支援した。</p>

1 「環境市民」による活動の促進

② 環境にやさしい企業づくりの支援			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
公害関係法令に関する情報提供 〔環境保全課〕	公害関係法令に関する説明会の開催、ホームページによる情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> ・法令改正に係る情報発信を行った。 ・事業所立入時に法令改正のチラシの配布を行った。(53社) ・事業所説明会の実施に向けて対象事業所の検討を行った。 ・事業所説明会を開催した。(30社48人参加) ・大気汚染立入時に公害抑制のチラシを配布した。(42社) 	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立入時にチラシを直接配付することにより公害抑制の啓発ができた。 ・企業説明会のテーマを環境法令の初級編で設定したところ、1社で複数名での参加があり事業所側の法令の理解が深まった。
③ 「環境市民」のネットワークづくりの促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進 〔環境政策課〕	活動発表会 4 回開催	活動発表会を 4 回実施した。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①4 月に「緑化まつり」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。 ②7 月に平塚市役所 1 階多目的スペース等で開催された「ひらつか環境フェア 2015」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。 ③3月に平塚市役所 1 階多目的スペースにて、「ひらつか環境パネル展」を実施した。 ④3月に勤労会館にて、「ひらつか環境ファンクラブ活動発表会」を実施した。

2 生活環境の保全

2-1 空気や水をきれいにします

●施策1 大気環境の保全対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 大気汚染状況の監視測定の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
大気環境汚染状況の監視測定等の実施 〔環境保全課〕	市内5箇所の測定局において、大気常時監視測定を引き続き実施し、汚染の状況を把握する。 ※桜河岸公園局は、平成26年度末で廃止。	市内5箇所の測定局において、大気常時監視測定を実施した。 【環境基準達成状況】二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質（長期的評価）、微小粒子状物質は達成、光化学オキシダントは非達成。
② 事業活動に伴う大気汚染防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
工場・事業場に対する指導等の実施 〔環境保全課〕	工場・事業所に対して、立入調査・指導等を実施する。	環境月間立入調査、冬季の立入調査を行い、測定結果等の確認及び指導を実施した。また、苦情発生時、アスベスト排出工事などの立入調査（137件）・指導等を実施した。
③ 自動車利用に伴う大気汚染防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
環境にやさしい自動車利用に関する普及啓発・低公害車の導入の促進 〔環境政策課〕	電気自動車等の軽自動車税の減免措置、並びに駐車場料金の割引制度に関する周知活動に努める。また、24年度から開始した電気自動車等購入補助制度の周知を図る。	広報紙、ホームページ等で減免措置並びに駐車場料金割引制度、導入補助の周知を図った。 電気自動車購入への補助は20件、駐車場割引（認定証発行）は8件行った。

●施策2 水環境の保全対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 家庭からの生活排水の適正な処理の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
下水道の整備・維持管理等の推進 〔下水道整備課〕	【下水道の整備・維持管理】 ○汚水管整備 ○管路更生 ○マンホール蓋交換	【下水道の整備・維持管理】 ○汚水管整備 L=130m ○管路更生 L=409m ○マンホール蓋交換 N=349箇所
合併処理浄化槽の設置促進 〔下水道経営課〕	補助対象地域内に設置された合併処理浄化槽に対し補助金を交付する。維持管理費用を補助する。	維持管理費補助 223基
農業集落排水施設の整備 〔下水道整備課〕	【農業集落排水の整備】 ○吉沢地区 汚水管整備	【農業集落排水の整備】 ○土屋・吉沢地区 汚水管整備 L=1,217m
水洗化の促進 〔下水道経営課〕	○公共下水道の普及啓発を促進し、普及率の向上を図る。 ○工事費の助成により、普及率の向上を図る。	○宅内排水設備確認申請件数 1484件 ○未接続家屋の接続を促す訪問件数 4070件 ○工事費の助成 排水設備工事費助成 24件 排水設備工事費貸付あっせん 1件
② 事業活動に伴う排水の適正な処理の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
工場・事業場に対する指導等の実施 〔環境保全課〕	工場・事業所に対して、立入調査・指導等を実施する。	水質汚濁防止法と神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき工場等の立入調査（100件）・指導を実施した。
家畜排せつ物処理施設等の整備・改修に対する助成 〔農水産課〕	家畜排せつ物処理施設の一部を補助する。	家畜排せつ物処理施設の一部を補助した。（10件）
③ 水質汚濁状況の監視測定等の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
水質汚濁状況の監視測定等の実施 〔環境保全課〕	神奈川県測定計画に基づく環境調査や市独自の水質測定を実施する。	神奈川県測定計画に基づき河川2地点、海域1地点の環境調査を実施した。また、市独自の水質測定として河川や主要排水路21地点で測定を実施した。 【環境基準達状況】 BOD：〈河川〉：96%（22/23）

2 生活環境の保全

2-2 安全で快適な生活を守ります

●施策1 化学物質対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 化学物質に関する情報収集・提供		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
化学物質に関する情報収集・提供 〔環境保全課〕	今後も化学物質に関する情報の収集及び提供を行う。	神奈川県から本市分のPRTTRデータの提供を受け、有害化学物質の使用状況についてホームページで情報発信を行った。
② 化学物質対策の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
化学物質の適正管理の促進 〔環境保全課〕	神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく申請時等に指導を行う。	神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく申請時等(79件)に指導を行った。
ダイオキシン類対策の促進 〔環境保全課〕	測定調査を実施するとともに市ホームページに公開し情報提供する。苦情等による立入調査時に指導を行う。	一般大気環境調査を2地点で年2回実施するとともに、ダイオキシン類に関する情報について、市ホームページで公開し、情報提供を行った。また、野焼き等の立入指導を16件実施した。 【環境基準達成状況】100%

●施策2 土壌汚染・地下水汚染への対応 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 土壌汚染・地下水汚染の未然防止対策の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
土壌汚染・地下水汚染の未然防止対策の促進 〔環境保全課〕	土壌汚染対策法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、立入調査・指導等を行う。	土壌汚染対策法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、14件の立入及び指導を行った。
② 地下水汚染状況の監視測定の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
地下水汚染状況の監視測定の実施 〔環境保全課〕	水質汚濁防止法に基づき、地下水汚染実態調査を実施する。	神奈川県地下水質測定計画に基づき、24地点で地下水汚染実態調査を実施した。継続監視調査で8地点、環境基準を超過していた。 【環境基準達成状況 67% (16/24)】
③ 工場・事業場の汚染浄化対策効果の確認		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
工場・事業場の汚染浄化対策効果確認調査の実施 〔環境保全課〕	工場・事業場の汚染対策の効果確認のため、地下水調査を実施する。	工場・事業場周辺の汚染状況の確認のため、5社の周辺地下水調査を実施した。

●施策3 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に対する取組 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 自動車や新幹線による騒音・振動への対応		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
自動車や新幹線による騒音・振動への対応 〔環境保全課〕	自動車騒音の常時監視測定、道路交通騒音・振動測定、新幹線騒音・振動測定を実施する。	自動車騒音の常時監視測定を5路線の7地点で実施し、環境基準の達成率は、84.4～100%でした。道路交通騒音・振動測定8路線の9地点で実施し、騒音は4地点で環境基準に適合、振動は全地点要請限度値以下であった。新幹線騒音・振動測定を6地点で実施し、騒音は4地点で環境基準値を超過、振動は全地点勧告指針値以下であった。
② 工場・事業場に対する規制・指導の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
工場・事業場に対する規制・指導の実施 〔環境保全課〕	工場・事業場に対して、立入調査・指導等を実施する。	騒音規制法、振動規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出を受理するとともに適時助言を行った。99件の立入を実施した。
③ 悪臭への対応		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
臭気指数規制による悪臭への対応の充実 〔環境保全課〕	悪臭防止法の臭気指数規制に基づく指導・規制、必要に応じ測定を行う。	悪臭防止法の臭気指数規制に基づき、事業所の指導を行った。5件の立入を実施した。
④ 地盤沈下の防止		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
地盤沈下量の測定と地下水利用の規制・指導 〔環境保全課〕	地盤沈下の進行を監視するため、精密水準測量及び観測井による地盤沈下量等の観測を実施する。また、条例に基づく地下水利用の規制指導を行う。	地盤沈下の進行を監視するため、精密水準測量及び観測井による地盤沈下量等の観測を実施した。また、条例に基づく地下水利用の規制指導を行った。

3 自然環境の保全と再生

3-1 生物多様性を保全します

●施策1 生物多様性の保全対策の推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自然についての講座、 観察会等の参加人数	目標値	45人	45人	45人	45人
	実績	75人	57人	48人	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	セミの抜け殻を調べる行事（2回、38人）、金目川の野鳥を観察する自然教室（1回、9人）、吉沢地区でキノコの観察会（1回、1人）を開催し、自然や動植物に親しむ機会を提供し、環境との関わりを学んだ。

〔具体的な取組内容〕

① 生物多様性の保全策の検討			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
生物多様性の 保全に向けた 仕組みづくり の検討 〔環境政策課〕	戦略策定	神奈川県生物多様性地域戦略策定後に本市の対応を検討することとした。	〈評価〉 - 〈説明〉 「かながわ生物多様性計画」が平成28年3月に策定されたため、平成27年度内に本市の対応を検討できなかった。
② 野生生物の情報収集			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
野生生物の情報収集・発信 〔博物館〕	情報収集・発信	博物館を活動拠点とする市民グループが主体となり市内の植物相の状況を調査し、これまでの植物標本の整理とデータ化を行った。	〈評価〉 ○ 〈説明〉 博物館を活動拠点とする市民グループ「湘南植物誌調査会」を主体として市内の植物の状況を調査し、情報を整理できた。

3 自然環境の保全と再生

③ 生物空間の保全対策の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
みどりと水辺のネットワークの形成 〔みどり公園・水辺課〕	植栽等の整備	公共・公益スペースへの植栽等を行い、緑のネットワーク形成を図った。また、学校等の公共施設に草花の苗や球根を配布したほか、公園、広場等の公共用地及び公民館等の243個のプランターや花壇に住民団体、公共機関の協力を得ながら花苗を植栽した。	〈評価〉○ 〈説明〉 毎年、継続的な取り組みを行うことで、みどりと水辺のネットワーク形成を維持している。
生物空間の維持管理と利用 〔環境政策課、農水産課、みどり公園・水辺課〕	維持管理と利用	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全モデル事業、環境教室、大学交流事業を計11回実施した。 ・馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」9回実施した。 	〈評価〉○ 〈説明〉 <ul style="list-style-type: none"> ・里山保全モデル事業を7回、環境教室を1回、大学交流事業を3回実施した。 ・水辺の環境づくりや調査などを行うエコアップ活動で全9回、延べ195人が活動を行った。
④ 野生生物への理解の促進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
自然についての展示、講座、観察会等の実施 〔博物館〕	4回	セミの抜け殻を調べる行事（2回）、金目川の野鳥を観察する自然教室（1回）、キノコの観察会（1回）を合計4回実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 参加者は、野鳥や植物・昆虫の観察や学習を通じて、身の周りの環境と生物の関わりを学び、野生生物への理解が促進された。
⑤ 鳥獣対策の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
鳥獣対策の推進 〔環境政策課、農水産課〕	予防策の周知、イノシシ捕獲檻の設置 28箇所	イノシシ捕獲のために既存の箱罠20基に加え、新たにくり罠18基を設置した。また、自主防除資材購入費への補助を行うことで、自主防除を促進した。	〈評価〉○ 〈説明〉 イノシシ27頭、シカ2頭、カラス317羽を捕獲した。また、自主防除資材購入に対して33件補助した。
特定外来生物の防除 〔環境政策課〕	捕獲・処分の実施	第2次神奈川県アライグマ防除実施計画に基づき、特定外来生物の周知、捕獲等を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 アライグマ48頭の捕獲等により防除を実施した。

3 自然環境の保全と再生

3-2 里山を保全し再生します

●施策1 里山の保全・再生とふれあいの推進 **【重点施策】**

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
里山保全モデル事業の 開催回数・参加人数	目標値	6回 90人	6回 90人	6回 90人	6回 90人
	実績	7回 80人	7回 87人	7回 99人	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	実施回数、参加者共に目標値を上回った。今後も引き続き、広報やホームページを利用して里山保全モデル事業の周知に努めていく。

【具体的な取組内容】

① 里山保全モデル地区における活動の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
里山保全モデル地区における活動の推進 〔環境政策課〕	里山の維持管理と活用	土屋頭無地区で里山保全モデル事業を7回実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 5月と10月から3月まで月1回のペースでモデル事業を開催し、累計で99人の参加者があった。

3 自然環境の保全と再生

② 市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進 〔環境政策課〕	里山保全に関する講座・研修の実施、市民を主体とした里山保全活動の実施、ホームページ等による里山保全に関する情報の発信	里山保全モデル事業実施時に里山保全に関する研修等を実施した。ホームページ等を利用し、里山保全事業に関する情報の発信を行った。	〈評価〉 ○ 〈説明〉 市民ボランティア等に向け、里山保全に関する研修等を実施した。ホームページを利用し、里山保全モデル事業等の情報を発信した。
③ 里山の自然とのふれあいの促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
里山体験教室等の開催 〔環境政策課〕	9回	里山体験教室等を11回開催した。	〈評価〉 ○ 〈説明〉 里山保全モデル事業を7回、市民・大学交流事業を3回、夏休み子ども環境教室を1回開催した。

3 自然環境の保全と再生

3-3 水辺の自然を再生します

●施策1 川や海の自然環境の再生とふれあいの推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 川や海の自然環境の保全と再生		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
河川・海岸での 美化活動の促進 〔みどり公園・水辺課〕	河川) 県主催の「湘南里川づくりクリーンキャンペーン」の周知。 (海岸) 海岸の美化キャンペーンの支援。	(河川) 県が作製したリーフレットやチラシでキャンペーンを周知しました。 (海岸) 海岸の美化キャンペーンを支援しました(6~8月に各1回、計3回)
海岸浸食対策の 促進 〔みどり公園・水辺課〕	「相模湾沿岸海岸侵食対策計画」に基づく、海岸管理者(神奈川県)による養浜事業の確認。	海岸管理者である神奈川県による養浜事業を確認した。(サンドリサイクルにより、平塚海岸内及び茅ヶ崎市柳島の堆積砂をビーチセンター西から旧龍城ヶ丘プール東の間へ運搬)
海底耕うんの 実施〔農水産課〕	海底耕うんを実施し、漁場の改善と廃棄物の状況調査を支援する。	海底耕うんを6回実施し、漁場の改善と廃棄物の状況調査を支援した。
② 川や海とのふれあいの促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
「馬入水辺の 楽校」の運営に 対する支援 〔みどり公園・水辺課〕	馬入水辺の楽校の会の活動を引き続き支援する。 観察会などの実施予定 「エコアップ隊」(年10回予定)	馬入水辺の楽校の会の活動を支援した。 「エコアップ隊」(9回)
馬入花畑の整 備 〔みどり公園・水辺課〕	馬入花畑の会と協力して、花畑の維持運営を実施する。摘み取りイベントや平塚地区環境対策協議会主催のチューリップ球根植栽を支援する。	馬入花畑の会と協力して、花畑の維持管理作業を年間50回実施した。摘み取りイベント(春:3,000人、秋:雨天中止)を実施した。また平塚地区環境対策協議会主催で約130人が4,000球のチューリップ球根植栽の支援を実施した。
水辺の散策路 の維持管理 〔みどり公園・水辺課〕	散策路の除草委託、注意喚起看板の維持管理などを実施する。	散策路の除草を26,236㎡分実施、注意喚起看板の設置や補修などを行った。
河川で活動する 市民活動団体の 支援と連携強化 〔土木総務課〕 〔みどり公園・水辺課〕	【土木】鈴川鯉のぼりまつり、金目川清流こいのぼり鑑賞会(河川占用の申請) ・引き続き、河川の愛護活動、環境美化活動を行う団体の活動を支援する。 河内川あじさいまつり(名義後援) 渋田川桜まつり(河川占用の申請など)	【土木】鈴川鯉のぼりまつり実施(5月2日から5月6日まで) 金目川清流こいのぼり鑑賞会実施(4月19日から5月10日まで) 【みどり】河川の愛護活動、環境美化活動を行う団体の活動を支援した。 河内川あじさいまつり(名義後援、駅前地下道にまつり周知のポスター掲示など) 渋田川桜まつり(河川占用の申請など)
都市漁村交流 活動の支援 〔農水産課〕	小学生の体験乗船、子ども環境教室など各種イベントや地獲れ魚の直売会の開催を支援する。	小学生の体験乗船、子ども環境教室など各種イベントや地獲れ魚の直売会の開催を支援した。
稚魚放流体験の 実施 〔農水産課〕	地元小学生によるヒラメの稚魚放流を支援する。	地元小学生によるヒラメの稚魚放流(2,000尾)を支援した。その他、水産関係者による放流(15,440尾)を支援した。

3 自然環境の保全と再生

3-4 農地を保全し活用します

●**施策1** 農業の活性化と農業とのふれあいの推進 **【重点施策】**

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
耕作放棄地面積	目標値	3.7ha	3.3ha	3.0ha	2.7ha
	実績	5.8ha	9.5ha	11.1ha	—

評 価	
27年度評価	×
評価の説明	農水産課と農業委員会が連携し、荒廃農地調査の着実な実施と指導により一部解消が見られるものの、農業者の高齢化や担い手不足により、全体の面積としては増加し、実績として削減には至らなかった。

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民農園数	目標値	21箇所	23箇所	24箇所	25箇所
	実績	22箇所 (1,171区画)	23箇所 (1,208区画)	24箇所 (1,235区画)	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	市民農園開設地のバランスをはかりながら、城島地区（小鍋島）に1園（27区画）開設した。区画割りや物品購入費の一部を補助する等、開設のための支援を行った。

〔具体的な取組内容〕

① 農業活性化の推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
担い手育成事業 〔農水産課〕	農業経営改善計画認定推進活動の実施	再認定対象者に対して農業経営改善計画作成支援を行った。また、経営など相談を受けた方に対応した。 再認定：71件 新規：2件	〈評価〉○ 〈説明〉 認定農業者の再認定活動を確実にを行うことを中心に、新規認定希望者に対応した。
サポートファーマー育成事業 〔農水産課〕	農作業研修・講義の開催	市民10人を対象に、湘南農業協同組合の専門講師の指導の下、事業を実施した。(農業実習：37回)	〈評価〉○ 〈説明〉 サポートバンクなどの援農組織や援農ボランティアへ誘導した。
農地の貸し借りの促進 〔農業委員会〕	農地制度に関する情報の発信による農地の貸し借りの促進	新たに貸し借りが設定された農地面積7.5ha	〈評価〉○ 〈説明〉 目標以上の農地集積・集約を行うことができた。 (新規利用権設定面積 ※年間目標7ha)
② 市民と農業とのふれあいの充実			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
市民農園整備支援事業(市民農園整備に対する助成・開設) 〔農水産課〕	1箇所	市ホームページやチラシの配布等により、農地地権者へのPRを行うとともに、農園開設の意向がある農地について、開設手続きを行った。その結果、城島地区(小鍋島)に1園開設した。	〈評価〉○ 〈説明〉 市民農園開設地のバランスをはかりながら、城島地区(小鍋島)に1園(27区画)開設。区画割りや物品購入費の一部を補助する等、開設のための支援を行った。
ひらつか花アグリ「農の体験・交流館」の運営〔農水産課〕	農の体験・交流館の管理運営・広報活動の実施	親子野菜づくり体験&採れたて野菜調理教室を春(全4回)と秋(全4回)に実施した。農の体験・交流館たよりを年4回発行した。 また、花菜ガーデン、あさつゆ広場等と連携しひらつか花アグリ収穫祭の一環として農の体験・交流館収穫祭を実施した。(参加者：540人)	〈評価〉○ 〈説明〉 体験事業等を通して市民に対して農業との触れ合いの機会を創出するなど、理解促進を図ることができた。
	花畑創出事業の実施	水田農業における休耕期に、農業者の参画のもとクリムソクローバーやリコリスの景観形成作物を栽培した。	〈評価〉△ 〈説明〉 ひらつか花アグリ「農の体験・交流館」の景観づくりを実施し、来場者を楽しませた。平成27年度からは、クリムソクローバーからリコリスを用いた景観づくりに徐々にシフトしていく。

3 自然環境の保全と再生

② 市民と農業とのふれあいの充実			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
農業体験学習の支援 〔農水産課〕	農業体験学習の支援	<p>■米づくり体験隊 主催：ハッピー会 実施日：6月20日（田植え体験）、7月18日（草取り体験）、10月17、18日（収穫体験） 参加者：20組59人</p>	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 収穫体験等を通じ、楽しみながら農業理解を深めることができた。</p>
③ 地産地消の促進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
地産地消の推進 〔農水産課、学校給食課〕	ベジ太を活用して平塚産農産物をPR	様々なイベントにベジ太の着ぐるみを積極的に登場させ、平塚産農産物をPRした。	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 ベジ太に対する市民の認知度が上がり、農業理解促進に繋がった。</p>
	学校給食における地場産品の利用等	地場産野菜を月平均4～5品目使用するよう努めた結果、使用品目26品目で品目ベース53%（昨年度49%）の割合となった。また、重量ベースにおいても、昨年度使用率16.8%から20.5%に上がった。野菜以外の地場産品については、アジ、カオリ麺、小松菜トマトパン、やまゆりポークを積極的に使用した。	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 地場産品を使用できるシステムは定着してきたが、割高であるとともに天候や作柄に左右されやすく、量の確保が難しいことがある。</p>

③ 地産地消の促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
地場製品の普及 〔産業振興課、 農水産課、 商業観光課〕	「湘南ひらつかふれあいマーケット」の開催、「湘南ひらつか名産品」の普及・PR 等	<ul style="list-style-type: none"> ・年 1 1 回湘南ひらつかふれあいマーケットを開催した。 ・イベント等で湘南ひらつか名産品の普及・宣伝を行った。 	〈評価〉○ 湘南ひらつかふれあいマーケットにおける地場製品の販売や、湘南ひらつか名産品の普及・宣伝により、地産地消の推進が図られた。
	地域ブランドの開発支援等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「平塚市産業活性化会議」の開催(2回開催)。 ・諸課題を解決するため各プロジェクトチームによる検討、実証実験等を実施。 ・事業者の取組を支援するためのセミナーの開催(2回開催)。 ・6次産業化・地産地消法や中小企業地域資源活用促進法等に関する商品開発や販路拡大などの支援(5件)。 ・産業間連携促進事業に関するネットワーク化等の新規施策の検討。 	〈評価〉○ 〈説明〉 産業間連携を促進するため、市内の各産業界代表者や学識経験者等で組織する「平塚市産業活性化会議」を2回開催するとともに、諸課題を解決するため、各プロジェクトチームにおいて引き続き検討、実証実験等を行った。事業者の取組を支援するためのセミナーの開催、6次産業化・地産地消法や中小企業地域資源活用促進法の認定事業者や新事業・新商品開発を企図している事業者に対し、商品開発や販路拡大などの支援(5件)を引き続き実施した。また、産業間連携促進事業を効果的・体系的に進めるため、ネットワーク化等の新規施策の検討を行った。

●施策 2 環境に配慮した農業の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 環境保全型農業の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27 年度実績
環境保全型農業の促進 〔農水産課〕	園芸用廃ビニールの適正な処理に対して支援を行う。 環境保全型農業について、農業者に理解を求めるとともに、取り組む農業者には実績に応じ直接支援を行う。	園芸用廃ビニールの適正な処理による環境に配慮した農業生産を促進するため、廃棄処理事業の主体である J A 湘南に補助を実施した。

3 自然環境の保全と再生

② 家畜排せつ物の適正処理と活用の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
家畜排せつ物 処理施設等の 整備・改修に対 する助成（再 掲） 〔農水産課〕	家畜排せつ物処理施設の一部を補助する。	家畜排せつ物処理施設の一部を補助した。（10件）
③ 自然環境に配慮した農業基盤の整備		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
自然環境に配 慮した農道・水 路等の整備 〔農水産課〕	自然に配慮した農道を 221m、用水路を 15m 整備する。 土木水利組合等に委託し、110,750 m ² の 除草を実施する。	農道を 230m、用水路を 30m、用水 路の転落防止柵を 144m整備した。 土木水利組合等に委託し、94,550 m ² の除草を実施した。

4 都市環境の保全と創造

4-1 うるおいとやすらぎのあるまちにします

●施策1 みどりのネットワークの形成 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民1人当たりの都市公園の面積	目標値	5.18㎡	5.40㎡	5.45㎡	5.50㎡
	実績	5.40㎡	5.40㎡	5.50㎡	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	真田与一公園他8公園の開設による増があり緑の軸の形成を考慮しながら公園面積を確保した。

〔具体的な取組内容〕

① 拠点となるみどりの確保			
取組内容〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
身近な公園整備の推進〔みどり公園・水辺課〕	高麗山公園再整備、街区公園再整備	高麗山公園桜補植工事を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 計画どおり工事が実施できた。
② みどりのつながりの確保			
取組内容〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
花とみどりのまちづくりの推進〔みどり公園・水辺課〕	公共施設への草花等の配布	公共施設 71箇所への花苗・球根配布を実施し(10月)、花とみどりのまちづくりの推進に寄与した。	〈評価〉○ 〈説明〉 学校施設を中心とする公共施設へ配布することにより、施設利用者への緑化意識の高揚並びに花とみどりの心の醸成に寄与した。今後も継続的な取り組みが必要と考える。

4 都市環境の保全と創造

② みどりのつながりの確保			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
花とみどりの まちづくりの 推進 〔みどり公園・水 辺課〕	モデル地区等へ の草花の苗の配 布	モデル地区及びモデル商 店街へ、6 月に 3,020 株、 11 月に 3,020 株の花苗 を配布した。	〈評価〉○ 〈説明〉 モデル商店街を定め、花とみどりの まちづくりを推進した。
新たな生垣の 設置に対する 助成 〔みどり公園・水 辺課〕	その他民有地緑 化策についても 検討	新たな生垣設置の 6.6m に対して助成を行った。	〈評価〉× 〈説明〉 いけがき設置奨励制度により、1 件 (前年度より 5 件減) に対して助成 を実施した。
保全樹林制度 による樹木等 の保全 〔みどり公園・水 辺課〕	保全樹木 63 本 保全樹林 9 箇所 保全生垣 5 箇所	保全樹木 56 本 保全樹林 8 箇所 保全生垣 5 箇所	〈評価〉× 〈説明〉 基準に基づき候補樹木の調査(9 箇 所)をしたが、新規指定にふさわし いものはなかった。維持管理の助成 を行った。
道路沿いの緑 化 〔道路管理課〕	市民による緑化 協力箇所数 11 箇所(苗木 の提供 3,900 本)	11 箇所に 5,600 本を提 供し、緑化を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 提供箇所数を増やし、苗木の提供本 数も目標値に達することができた。
③ 市民や事業者による緑化活動の支援と促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
緑化に関する 普及啓発の実 施 〔みどり公園・水 辺課〕	緑化まつり、緑 化ポスター・標 語コンクールの 実施	第 42 回平塚市緑化まつ りを開催し、2 日間で 47,000 人の来場があっ た。 第 42 回平塚市緑化ポス ター・標語コンクールを実 施し、ポスター 627 点、 標語 1,080 点の応募があ った。また、ポスター全作 品を展示した展示会には、 4 日間で合計 950 人の来 場があった。	〈評価〉○ 〈説明〉 開催期間 2 日間で前年比 4,000 人 減となりました。また、環境配慮型 イベントとしてゴミの減量化に取り 組んだ。

4 都市環境の保全と創造

③ 市民や事業者による緑化活動の支援と促進			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
市民の緑化活動に対する支援 〔みどり公園・水辺課〕	緑化モデル団体や公園愛護会の活動に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化モデル団体に対し、交付金を交付し、花苗を配布した。 ・愛護会は、役員会、総会を開催し、各団体へは交付金を交付した。 	〈評価〉○ 〈説明〉 ・うるおいとやすらぎのあるまちにするため、地域での緑化を推進する「緑化モデル団体」への支援を継続し、みどりのネットワーク形成を図った。 ・愛護会は予定通り役員会、総会を行った。
事業所等における緑化の促進 〔みどり公園・水辺課〕	事業所等における緑化促進に関する指導	まちづくり条例に基づき、緑化指導を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 緑化計画書の提出は 55 件、その他にも出来るだけ多くの緑地を確保させた。

●施策2 さわやかで清潔なまちづくりの推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
美化推進モデル地区の指定	目標値	3地区	4地区	4地区	4地区
	実績	4地区	4地区	4地区	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	清掃活動に係る消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。

〔具体的な取組内容〕

① さわやかで清潔なまちづくりの推進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
「美化推進モデル地区」における取組の支援 〔循環型社会推進課〕	モデル地区・活動等の充実	美化モデル地区に対し、清掃や条例啓発等の美化活動に必要な支援を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 清掃活動に係る消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。
地区美化推進委員会に対する支援 〔循環型社会推進課〕	活動に対する助成や連絡協議会の開催等	地区美化推進委員長連絡協議会を2回開催し、事業計画や補助金交付の説明を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 各地区の美化活動が補助金をもとに推進されていることが事業報告書等により確認できた。
清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施 〔循環型社会推進課〕	まちぐるみ大清掃の実施（年2回）、ポイ捨て防止キャンペーンの実施等	まちぐるみ大清掃を2回、クリーンキャンペーンを2回実施した。※6月、10月のキャンペーンは雨天により中止。	〈評価〉○ 〈説明〉 まちぐるみ大清掃やキャンペーンを通じて、美化意識の啓発をすることができた。

●施策3 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
景観計画及び 景観条例に基 づく取組の推 進 〔まちづくり政策 課〕	景観計画、景観条例の周知とともに、良好な景観形成に寄与する市民団体の活動の活性化を促す場の提供及び技術的支援の提供を行う。また、民間事業者及び公共施設整備等においては、「景観ガイドライン」や「公共施設景観ガイドライン」に基づき、景観事前相談及び協議を行うとともに、景観アドバイザー制度などによる専門家の意見を踏まえた指導・助言を行い、先導的な景観づくりを推進する。	景観計画、景観条例の周知とともに、良好な景観形成に寄与する市民団体の活動をより活性化するため、職員派遣などの支援を行った。また、民間事業者及び公共施設整備等に対しては、「景観ガイドライン」や「公共施設景観ガイドライン」に基づき、景観事前相談や協議を行うとともに、良好な景観形成に向けた指導・助言を行った。
西部丘陵地域 資源活用検討 事業 〔まちづくり政策 課〕	①東京農業大学地域再生研究部会の「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」分科会の活動に参加する。 ②「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が開催するワークショップに参加する。 ③西部丘陵地域で活動する団体等から、地域活性化に関する講師の派遣依頼があった場合は、講師を派遣する。	①東京農業大学地域再生研究部会「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」分科会の会議（5回開催）に参加した。 ②「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が開催するワークショップ（3回開催）に参加した。 ③「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」から、地域活性化に関する講師の派遣依頼があり、講師（東京工業大学 真田准教授）を派遣した。

① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
市民によるまちづくりの支援 〔まちづくり政策課〕	<p>①大人対象の「まちづくりわいわい塾」については、年間2回の開催を予定している。また、小学生とその保護者を対象とした「まちづくり探偵団」については、小学校の秋休みと春休み期間に開催を予定している。</p> <p>②スケッチ展については、美術館において平成27年10月29日から11月1日までの4日間開催する。</p> <p>③景観まちづくりに関連する事業を紹介するとともに、景観への意識啓発を行う景観パネル展を平成27年5月25日から5月29日までの5日間開催する。</p>	<p>①大人対象の「まちづくりわいわい塾」については、お住まいの地区のまちづくりに興味・関心を持っていただくことを目的として、「みんなのまちづくり入門」を2月3日と2月10日の2回開催した。また、小学生とその保護者を対象とした「まちづくり探偵団」については、平塚のまちの移り変わりを学び、平塚市のまちづくりについて考える講座を1月30日に、また平塚市役所新庁舎の免震構造やユニバーサルデザインなどをクイズ形式で調査する「平塚市役所新庁舎を調査せよ」を3月28日に開催した。</p> <p>②平成27年度は市内の全小学生を対象に「にぎわいのある夏のまちかど」をテーマとして実施した。全作品（389作品）を美術館において平成27年10月29日から11月1日までの4日間展示し、延べ950人の来場があった。</p> <p>③景観まちづくりに関連する市民団体や企業等の活動を紹介し、景観への意識啓発を行う景観パネル展を平成27年5月25日から5月29日までの5日間開催した。</p>
建築協定制度の導入促進 〔建築指導課〕	<p>開発事業に対する事前相談時に制度のPRを実施するとともに、土地所有者への理解を得ながら「住みよいまちづくり」の促進を図る。</p>	<p>ホームページや開発事業の事前相談時に建築協定のPRを行った。</p>
屋外広告物の掲出に関する規制・指導の実施 〔まちづくり政策課〕	<p>平塚市屋外広告物条例に基づき、引き続き不適合物件への是正指導及び未申請物件の申請促進を計画的に実施する。</p> <p>また、除却協力員（MKO）との協力により、違反屋外広告物の除却活動を平塚市内の各地域で実施する。</p>	<p>平塚駅周辺や景観重点区域の事業所等に対して、屋外広告物条例の周知及び安全点検の実施についてのリーフレットを配布し、適正な申請と安全管理を啓発した。</p> <p>また、継続未申請の屋外広告物を表示している事業所等に対して、通知を送付し、継続申請を促した。</p> <p>このほか、平成27年12月12日に除却協力員と市職員の総計64人により、平塚駅前周辺地域の違反広告物除却活動を実施し、違反広告物151枚を除却した。</p>

② 平塚八景や歴史的・文化的資源の保全と活用		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
平塚八景の活用 〔商業観光課〕	案内看板の修繕と危険箇所の修繕を実施する。	①ハイツコース経路修繕6か所（木橋補強、手すり補強、暗渠管設置、霧降りの滝石組階段設置、径路穴埋め、立石付近0-7°張り） ②ハイツコース注意看板設置（5か所） ③ハイツコース指導標の柱付け替え修繕（1か所） ④ハイツコース案内標識の修繕（指導標25カ所※防腐剤塗布・文字入れ、案内板2枚※防腐剤塗布、石柱（2本※文字入れ） ⑤平塚八景・前鳥神社案内看板の修繕（1枚※柱の付け替え・文字入れ）
歴史的・文化的資源の保存と活用 〔社会教育課〕	旧横浜ゴム平塚製造所記念館で講座や音楽演奏会、同館利用団体による活動発表会等を実施し、保存・活用事業を更に進める。また、平成26年度に植栽整備を行ったバラの維持管理により、バラの拠点としてより市民に親しまれる施設となるよう事業を進める。 エコミュージアム金目まるごと博物館による金目地区の自然や歴史文化の保全・活用活動に対し、効率的な取組を検討し実施する。	旧横浜ゴム平塚製造所記念館では、歴史講座（46人）、文化講座（29人）、音楽演奏会（春430人・秋484人）、同館利用団体による成果発表会（クリスマスフェスタ792人）や毎月1回の全館解放事業、コンサートなどの事業を実施し、資源の活用を図った。また、約200本のバラの開花に合わせ春と秋にバラフェスタを開催し、記念館をバラの拠点として活用した。 エコミュージアム金目まるごと博物館委員会により、桜まつり、収穫祭をはじめ年間を通じて、ガイドボランティア活動（1回開催18人）、自然観察会（3回開催194人）やどんぐりクラフトづくりなどの体験塾（2回開催105人）で自然に親しみ体験することができるイベントを開催し、自然や歴史、文化財の保全と活用を進めた。

4 都市環境の保全と創造

4-2 環境共生型のまちづくりをすすめます

●施策1 環境共生モデル都市の形成 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① ツインシティの実現に向けた取組の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
地域住民を中心としたまちづくりの推進 〔都市整備課〕	区画整理組合設立準備会及び組合設立後は区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行う。 神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加する。	区画整理組合設立準備会及び土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行った。 神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加した。
ツインシティの整備の推進 〔都市整備課〕	関係機関とともに、環境共生モデル都市や土地利用計画の検討を行う。 また、環境アセスメント予測評価書を県知事に提出する。	関係機関とともに、環境共生モデル都市や土地利用計画の検討を行った。また、環境アセスメント予測評価書案を県知事に提出し、予測評価書の公告が行われた。

●施策2 交通の円滑化の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 交通による環境負荷の低減		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
バス交通の整備促進 〔交通政策課〕	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県地域交通研究会において、バス交通の充実や生活路線の運行確保等について調査・検討を行う。 速度低下の主な原因であるボトルネック解消には、交差点改良等が必要で莫大な費用と時間がかかるため、中長期的に「幹線バス、路線バスの再編」の中でバス事業者等と検討していく。 上屋及び駐輪場等設置に向けて補助制度の創設や整備に着手する。 情報提供の強化に向けたバスマップの作成を、バス事業者と協働で取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県地域交通研究会において、バス交通の充実や生活路線の運行確保等について調査・検討を行った。 速度低下の主な原因であるボトルネック解消には、交差点改良等が必要で莫大な費用と時間がかかるため、中長期的に「幹線バス、路線バスの再編」の中でバス事業者等と検討している。 上屋設置に対する補助制度（案）を作成しました。また、バス停付近駐輪場設置の調整が1箇所整った。 情報提供の強化に向けたバスマップの作成を、バス事業者と協働で検討している。
道路の新設・改良 〔道路整備課〕	幹線道路（北金目真田線）等の整備に取り組む。	幹線道路（北金目真田線）等の整備を実施した。
鉄道交通の整備促進 〔交通政策課〕	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に参加し、鉄道混雑の緩和や新規鉄道の平塚駅乗り入れなどの実現に向け、商業関係者とともに、JRなどの関係機関に要望活動を実施する。	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に参加し、鉄道混雑の緩和や新規鉄道の平塚駅乗り入れなどの実現に向け、商業関係者とともに、JRなどの関係機関に要望活動を実施した。
新しい公共交通システムの検討 〔交通政策課〕	南北都市軸において、幹線バス・路線バスの再編をしていく中で、バス専用レーン・公共交通優先信号・連節バス導入等の環境に配慮した高次の機能を備えた路線バスシステムの検討をバス事業者と協議する。	南北都市軸において、幹線バス・路線バスの再編をしていく中で、バス専用レーン・公共交通優先信号・連節バス導入等の環境に配慮した高次の機能を備えた路線バスシステムの検討をバス事業者と協議した。
駐輪場整備の促進 〔交通政策課〕	一時利用形態に特化して供用開始した八重咲町第2駐輪場の集客状況等を調査し、最適な運用形態の実施を図る。 民間事業者が平塚駅周辺に駐輪場を開設する際の支援制度の周知に努める。	一時利用形態に特化して供用開始した八重咲町第2駐輪場の集客状況等を調査し、最適な運用形態の検証を行った。 平塚市広報、ホームページで民間事業者が平塚駅周辺に駐輪場を開設する際の支援制度の周知を図り、1件の補助金を交付した。

●施策3 ヒートアイランド対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① ヒートアイランド対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
建物等の緑化の促進 〔みどり公園・水辺課〕	有効な緑化策について引き続き検討をして導入をめざす。	有効な緑化策について情報収集をした。
建造物による蓄熱の低減に向けた調査・検討 〔環境政策課,事業担当課〕	県を通じて、他市町村の取組み状況について情報収集を行う。	平塚市が取り組んでいるエネファームの一般家庭への普及促進策やクールタウン作戦などの温暖化軽減対策について、神奈川県へ情報提供した。また、県内自治体の取組みについて、県から情報提供を受けた。
身近な公園整備の推進(再掲) 〔みどり公園・水辺課〕	高麗山公園再整備(桜の補植)工事を実施予定。	高麗山公園再整備(桜の補植)工事を実施。
人工排熱の抑制に向けた普及啓発の実施 〔環境政策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらつかCO2CO2プランへの取組を呼び掛ける。 ・クール・タウン作戦として300株のゴーヤ苗を市民に配布予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらつか CO2CO2 プランは、小中学生 9,175 人、一般家庭 1,546 人 合計 10,721 人の参加があった。 ・クール・タウン作戦として 554 株のゴーヤ苗を 112 世帯に配布した。

5 地球環境保全への貢献

5-1 地球温暖化防止に取り組みます

●施策1 新エネルギーの導入促進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般住宅の太陽光発電システムによる発電力 (助成対象累計)	目標値	8,140kW	10,000kW 適宜見直し	事業終了	事業終了
	実績	8,558kW	9,689kW	—	—

評 価	
27年度評価	—
評価の説明	概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。

※小数点以下は四捨五入しているため、計算が合わない場合があります。

〔具体的な取組内容〕

① 公共施設における新エネルギーの率先導入			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
公共施設への太陽光発電システムの率先導入 〔建築住宅課 事業担当課〕	競輪場メインスタンド改修工事等の発注 各施設の完成に向けた工事	太陽光発電システムを設置した市民病院新棟が完成した。	〈評価〉○ 〈説明〉 太陽光発電システム導入により、環境に配慮した公共施設の整備が進んだ。
	屋根貸し制度等に関する調査・検討、導入可能な施設への整備	他市事例の状況等を踏まえ、調査・研究を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 神奈川県や他市の状況、新規事業の動向などについて調査・研究等を行った。
新エネルギーに関する調査・検討の実施 〔環境政策課〕	調査・検討	緑化まつりやひらつか環境フェアなどのイベントにおいて、市民団体とともに新エネルギーに関する環境教室等を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 おもちゃを使った太陽光発電の体験やソーラーオルゴールの工作など、子どもの目線に合わせた環境教室を開催した。

② 一般家庭や事業者への太陽光発電システムの導入促進			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成 〔環境政策課〕	太陽光発電システムの設置に対する助成 450件	—	<p>〈評価〉 —</p> <p>〈説明〉 概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。</p>
	燃料電池の設置に対する助成 70件	70件の助成を行った。	<p>〈評価〉 ○</p> <p>〈説明〉 広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントでのチラシの配布等で周知を行い、目標を達成することが出来た。</p>
事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援 〔産業振興課〕	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	<p>資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに融資を受けた事業者に対し、利子補給する制度等を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資相談 0件 ・融資実行 0件 ・信用保証料補助 0件 ・利子補給 0件 	<p>〈評価〉 ○</p> <p>〈説明〉 融資及び補助金制度について、ウェブへの掲載やパンフレットの配布により、市内事業者への周知を図った。27年度については案件がなかったが、継続して積極的な事業周知を図る。</p>
新エネルギーに関する普及啓発の実施 〔環境政策課〕	イベントでのPR や子ども環境教室の開催など	緑化まつりやひらつか環境フェアなどのイベントにおいて、市民団体とともに新エネルギーに関する環境教室等を実施した。	<p>〈評価〉 ○</p> <p>〈説明〉 おもちゃを使った太陽光発電の体験やソーラーオルゴールの工作など、子どもの目線に合わせた環境教室を開催した。</p>

●施策2 くらしや事業活動における環境への配慮の促進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
「ひらつかCO2CO2プラン」に取り組んだ人数	目標値	8,000人	9,000人	10,000人	10,000人
	実績	8,508人	9,745人	10,721人	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	市内全小学校を通して小学生の家庭（家庭数）や太陽光発電システム及びエネファームの設置補助金を交付した方等へ配布したことにより、参加者が増えた。

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
平塚市環境共生型企业懇話会の参加企業延べ数（再掲）	目標値	90企業	95企業	100企業	100企業
	実績	65企業	71企業	55企業	—

評 価	
27年度評価	×
評価の説明	平塚市環境共生型企业懇話会を、会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。

〔具体的な取組内容〕

① 環境に配慮したくらしの普及			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
日常生活における環境への配慮の取組の促進 〔環境政策課〕	「ひらつかCO2CO2プラン」の取組呼びかけなど	小中学生9,175人、一般家庭1,546人 合計10,721人の参加があった。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> 市内全小学校を通して小学生の家庭（家庭数）や太陽光発電システム及びエネファームの設置補助金を交付した方等へ配布したことにより、参加者が増えた。
一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成（再掲） 〔環境政策課〕	太陽光発電システムの設置に対する助成 450件	—	<p>〈評価〉—</p> <p>〈説明〉</p> 概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。
	燃料電池の設置に対する助成 70件	70件の助成を行った。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> 広報ひらつかやホームページ等への掲載、各イベントでのチラシの配布等で周知を行い、目標を達成することが出来た。
電気自動車等の導入に対する助成 〔環境政策課〕	—	20件の助成を行った。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> 広報やホームページで周知した結果、計画どおり助成することができた。
自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成〔危機管理課〕	設置費の助成	LED235灯導入	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> 助成対象とした239灯のうち、98.3%にあたる235灯にLEDが使用された。

① 環境に配慮したくらしの普及			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
雨水の有効活用 の促進 〔下水道経営課〕	雨水貯留槽の設置 に対する助成 20 基	14 基の補助金申請に 対し 14 基に補助金を 交付した。 (雨水貯留槽：14 基 浄化槽転用雨水貯留 槽：0 基)	〈評価〉△ 〈説明〉 広報やホームページで周知したほ か、申請書様式の改善を図った結果、 概ね計画とおりの申請があった。制 度のさらなる周知を今後の課題とす る。
省エネルギー 機器等の利用 促進 〔環境政策課〕	イベント等におけ る情報提供	7 月に開催した「ひらつ か環境フェア2015」 等で市民団体や事業者 と協力し、情報提供を行 った。	〈評価〉○ 〈説明〉 太陽光発電やLED照明、エネファ ーム、HEMS等の省エネ機器の情 報提供や実演を行い、PR をするこ とができた。
クール・ビル作 戦等の実施 〔環境政策課〕	クール・ビル作戦、 クール・タウン作 戦の実施	クール・タウン作戦を実 施し、554 株のゴーヤ 苗を112 世帯に配布 した。	〈評価〉○ 〈説明〉 昨年度よりも多くのゴーヤ苗を各世 帯に配付できた。 (昨年度比249 株、50 世帯増)
② 環境に配慮した事業活動の普及			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
平塚市環境共 生型企业懇話 会の開催(再 掲) 〔産業振興課〕	懇話会の開催 活動発表	平塚市環境共生型企業 懇話会を6回開催し、そ の他に役員会も行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 企業間の事例発表や講演会、施設見 学の開催と活動発表のための展示 会への出展などによって、企業間 における環境負荷の軽減への取組を 支援した。
事業者の太陽 光発電システ ムや省エネ機 器等の導入に 対する支援(再 掲) 〔産業振興課〕	本市融資制度内 に資金メニュー の設置 利子補給・信用保 証料補助	資金メニューに「地球温 暖化対策資金」を設置す るとともに融資を受け た事業者に対し、利子補 給する制度等を設けた。 ・融資相談 0 件 ・融資実行 0 件 ・信用保証料補助 0 件 ・利子補給 0 件	〈評価〉○ 〈説明〉 融資及び補助金制度について、ウェ ブへの掲載やパンフレットの配布 により、市内事業者への周知を図 った。27 年度については案件が無 かったが、継続して積極的な事業周 知を図る。

② 環境に配慮した事業活動の普及			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
事業活動における環境への配慮の促進 〔環境政策課,産業振興課〕	事業者に対する働きかけ、情報提供、設備導入に対する助成	広報紙、ホームページ、チラシなどを通じて環境設備導入に対する助成制度の周知を図った。1社に対して助成した。	〈評価〉○
			〈説明〉 計画通り事業者への周知・情報提供を行った。
建築に伴う環境負荷の低減 〔建築指導課〕	法令に基づく指示等の実施	法令に基づく指示等を実施した。	〈評価〉○
			〈説明〉 省エネルギー法に基づく届出において著しく不十分な届出はなく指示等もなかった。
③ 市の事業活動における環境への配慮			
取組内容 〔所管課〕	27 年度計画	27 年度実績	評価
ひらつかエコモードの取組の推進 〔環境政策課ほか全所属〕	取組の推進	全課共通の取組と本市の達成目標を設定して全庁的に取り組んだ。また、研修や環境監査の実施により、効果的な運用を図った。	〈評価〉△
			〈説明〉 電気使用量については、目標を達成する見込みで、用紙使用量は目標には届かないものの、削減が見込まれる。一方、ガソリンは増加見込みである。
ごみの焼却に伴う余熱利用の推進 〔環境施設課〕	建設工事着手	工事契約を締結し、工事着手した。	〈評価〉○
			〈説明〉 順調に工事を行っている。
環境に配慮した公共施設の整備の推進〔建築住宅課,危機管理課,道路管理課,事業担当課〕	競輪場メインスタンド改修工事等の発注各施設の完成に向けた工事	<ul style="list-style-type: none"> ・市民病院新棟工事が完成した。 ・市庁舎 2 期工事を進めている。 ・余熱利用施設等を発注した。 	〈評価〉○
			〈説明〉 ・市民病院新棟は太陽光発電や雨水利用設備の設置、新庁舎 2 期工事は雨水利用設備の設置を行うなど環境に配慮した計画としている。 ・余熱利用施設は環境事業センターから発生する余熱を利用した施設の整備をしている。
			〈評価〉○
	防犯灯への LED の導入 50 灯	60 灯	〈説明〉 新たに設置した市管理防犯街路灯の全てに LED を使用した。
			〈評価〉○
	街路灯の LED 化の検討・導入	駅周辺部において街路灯の LED 化（156 灯）を行った。	〈説明〉 当初、LED 化の検討を行っていたが、一気に導入することができた。

5 地球環境保全への貢献

③ 市の事業活動における環境への配慮			
取組内容 〔所管課〕	27年度計画	27年度実績	評価
廃棄物発電 〔環境施設課〕	発電余剰分売電	発電余剰分として、 25,399,770kwhの電力を 売電した。	〈評価〉○
			〈説明〉 環境事業センター運営事業者が 発電余剰分を売電した。
公共施設にお ける環境に配 慮した電力調 達契約の推進 〔契約検査課、環 境政策課、事業担 当課〕	事業者の選定 電力調達	電気事業者選定に際し、環境 配慮面を考慮した。 各施設所管課の電力調達に係 る競争の取りまとめを行い、 環境評価項目を満たした事業 者を対象に入札を実施し、契 約を行った。	〈評価〉○
			〈説明〉 環境に配慮した電力契約に寄与 した。 取りまとめ依頼を受けた施設に ついて、全ての施設で事業者の 選定を行うことができた。

5 地球環境保全への貢献**5-2** 循環型社会をつくります**●施策 1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進 【重点施策】**

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民1人が1日に排出するごみの量	目標値	912g	911g	910g	910g
	実績	907g	898g	908g (速報値)	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	平塚市一般廃棄物処理基本計画の推計値(目標値)と比して排出量は2g削減した。前年度比では事業系一般廃棄物と家庭から排出された資源再生物の量が増加したため、10g増加した。

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ごみの資源化率	目標値	25%	25%	25%	25%
	実績	23.8%	25%	24.9% (速報値)	—

評 価	
27年度評価	○
評価の説明	剪定枝等の資源化品目を追加したこと等により、資源化量全体は増加したが、ごみの総排出量も増加したため、相対的な資源化率はほぼ横ばいとなった。

〔具体的な取組内容〕

① 廃棄物の発生抑制・資源化の推進			
取組内容 〔所管課〕	27 計画	27 実績	評価
ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発 〔循環型社会推進課、環境施設課〕	ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等	新規協力店の申し込みもあったが、商店の閉鎖等により、拡充はできなかった。	〈評価〉△ 〈説明〉 ごみ減量化・資源化協力店への新規の申し込みはあるが、閉店する店舗が多く協力店数は減少。新規登録の啓発が必要。
家庭ごみの有料化に向けた検討 〔循環型社会推進課〕	有料化に向けた調査・研究	廃棄物対策審議会では粗大ごみ等の手数料に係る改定等の審議をしたが、ごみ袋の有料化については議論していない。近隣自治体の動向調査に努めた。	〈評価〉△ 〈説明〉 有料化の理由が導入自治体の事情により異なるため、慎重な議論の進め方が必要である。
生ごみの減量化・資源化の促進 〔循環型社会推進課〕	コンポスターの販売 115 台	52 台を販売した。	〈評価〉× 〈説明〉 前年実績・計画ともに下回った。今後も回覧やイベント等で斡旋を周知する。
	電動生ごみ処理機購入費の助成 30 件	37 件に対して補助を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 計画通り事業を実施できた。今後も回覧やイベント等で斡旋を周知する。
事業系ごみ多量排出者に対する指導 〔循環型社会推進課〕	57 件	各事業所の排出量を把握し、多量排出事業者に減量化等計画書を提出させた。(63 件)	〈評価〉○ 〈説明〉 調査を実施し各事業所の排出量を把握。多量排出事業者は 63 社となり、全事業所から「減量化等計画書」を提出させ、事業者自身に排出量削減の意識付けをし、担当課で内容を把握した。
剪定枝の有効利用の検討 〔循環型社会推進課〕	市内から排出される剪定枝を二宮町に完成予定の資源化施設へ搬出	平成 27 年 10 月にごみ分別表を改訂。剪定枝の予約制各戸収集を行い、二宮町ウッドチップセンターへの搬入(約 800 トン)を開始した。	〈評価〉○ 〈説明〉 モデル地区を設けての効果検証は実施しなかったが、収集体制の構築及びそれに必要な予算の確保ができた。

② 廃棄物の適正処理の推進			
取組内容 〔所管課〕	27 計画	27 実績	評価
焼却残さの資源化の推進 〔環境施設課〕	新たなごみ焼却施設における焼却残さ資源化の開始	ごみ焼却施設焼却残さ(7,065.07トン)を資源化した。	〈評価〉○ 〃 〈説明〉 計画どおり、ごみ焼却施設焼却残さを資源化した。
新たなごみ焼却施設の整備 〔環境施設課〕	ごみ焼却施設の整備・稼働	平成25年に整備事業が終了し、平成25年10月から本稼働を開始した。	〈評価〉— 〃 〈説明〉 —
広域的なごみ処理の推進 〔環境施設課〕	広域処理施設の整備、ごみ分別収集区分の統一等	分別収集区分の統一に係るマニュアルを運用した。	〈評価〉○ 〃 〈説明〉 施設を広域的に利用するためには各市町の分別収集区分を統一することが必要である。

●施策2 不法投棄防止対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 不法投棄防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27 年度実績
不法投棄防止パトロールの実施 〔循環型社会推進課〕	県との合同パトロールを4回、随時のパトロールを40回実施を予定。	県との合同パトロールを4回、随時のパトロールを55回実施した。
不法投棄防止に向けた普及啓発 〔循環型社会推進課〕	不法投棄件数が増加傾向にあり、県と協力しながら、看板掲出等により、適正排出を啓発する。	不法投棄件数が増加傾向にあり、県と協力しながら、看板(41枚)掲出等により、適正排出を啓発した。
不法投棄物の追跡調査と回収 〔循環型社会推進課〕	県、警察等関係機関と連携しながら、追跡調査に取り組む。	県、警察等関係機関と連携しながら、追跡調査に取り組んだ。

5 地球環境保全への貢献

5-3 広域的な環境保全に取り組みます

●施策1 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	27年度実績
広域的なごみ処理の推進(再掲) 〔環境施設課〕	改訂 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づいて広域化を進める。	改訂 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づいて広域化を推進した。
ツインシティ構想の推進(再掲) 〔都市整備課〕	区画整理組合設立準備会及び組合設立後は区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行う。 神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加する。	区画整理組合設立準備会及び土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行った。 神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加した。
桂川・相模川流域協議会への参加 〔環境政策課〕	運営委員会に出席し、クリーンキャンペーン等のイベントへの参加や同会の会報誌の配架や事業周知を行う。	運営委員会に出席し、クリーンキャンペーン等のイベントへの参加や同会の会報誌の配架や事業周知を行った。
金目川水害予防組合の活動の支援 〔農水産課〕	金目川の水害予防と沿岸耕地のかんがい用水の水源かん養のため、金目川の水源地である春嶽山を所有する金目川水害予防組合の管理運営費の一部を負担する。	春嶽山を所有する金目川水害予防組合の管理運営費の本市分を負担した。
「湘南里川づくり」への参加 〔企画政策課/関係課〕	住民協働の組織である「湘南里川づくりみんなの会」へ、行政幹事として参画する。	「湘南里川づくりみんなの会」の役員会に1回、フォーラムに1回、行政幹事として参加した。